

経営志向の内部監査アプローチの構築と展開

ガバナンスとリスクマネジメント志向の経営監査の攻め方

第一期「経営監査塾」〔第7回開催分（全8回開催）〕

- 日 時 ● 2016年3月8日（火）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人における約20年の会計監査への従事と10数年にわたる内部監査（実施支援、コンサル、品質評価等）、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、A B ボルボのコーポレートオーディット日本担当ダイレクターおよびUDトラックス株式会社監査役として監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講演／ 経営志向の内部監査アプローチの構築と展開<14:00 —16:00>

従来の準拠性監査を高度化させるカギはガバナンスとリスクマネジメントにベクトルを合わせた内部監査の方法です。これは内部監査人協会（IIA）の内部監査の定義が示すように、内部監査の対象をコントロールにとどめることなく、ガバナンスやリスクマネジメントを広くカバーすることにつながり、経営全体に付加価値をもたらす監査を具体化するものです。この分野は最近の不祥事との関係でも注目される企業の経営環境や企業風土などもカバーする重要な監査領域です。しかしその具体的方法は日本ではまだ普及していません。

内部監査がコーポレートガバナンスやリスクマネジメントと紐づけて論じられることはセミナーの定番になっているようですが、それらをどのように内部監査するかという実践的な話はほとんど聞かれません。しかし内部監査人にはマクロ的な論評ではなくて、実際にこれらを正面から監査して結果を出す力が求められます。そのための監査アプローチが今回のテーマです。例えば、本社機能の内部監査は事業部や子会社の監査とは違ったやりにくさがあり、それだけしっかりした監査アプローチが求められるところですが、その一つの答えがガバナンスの監査やリスクマネジメントの監査です。これらはまた事業部や子会社の経営監査においても付加価値を上げる重要な切り口となります。

1. 企業のガバナンス構造と内部監査機能の位置づけの理解
2. リスクマネジメントの視点から切り出す監査アプローチ
3. ガバナンス志向経営監査の着眼点と展開方法

● 講演をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00 —17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社） 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951～2

150188	2016 3/8 経営監査塾 第7回		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			